

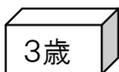
先日は給食参観にお越しいただきましてありがとうございました。入園、進級後のお子さまたちの様子にどのような感想をお持ちになったでしょうか。

参観3日目の年中さんの日に園長から”仲間意識“についてのお話がありました。今はまだ、自分のことで精いっぱいの子どもたち。ともに生活し、ともに遊び、同じことを経験することで「一緒だね」「おんなじおんなじ」と安心し、笑顔になる。そんなことが“友だちの始まり”なのでしょうか。この時期は各学年のスタートを切ったばかりですが、子どもたちそれぞれが友だちを見つけ、相手の良さを知ることが大事だと考えます。「仲間」になるまでの過程は様々で、それぞれに意味があるとは思いますが・・・いつの日か認め合いができ、お互いが「仲間」と言い合える関係性を築いていけるように見守り、援助していきたいと思えます。

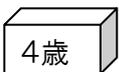
さて話は変わりますが、以前職員と「今年はたんぽぽをあまり見かけなかったねえ」と話をしていました。例年ですと4月には芝生いっぱいに咲いていて、連休明けにはシロツメクサが覆うように咲いていたものですが、今年はどちらも少なかったです。子どもたちに豊かな自然を、はだして草を踏む感覚を味わってほしい、との想いがありましたが、かなわない状況です。現在は地蜂がいたり、固い根っこが出ていたりするので”はだしが丘“にはしておりませんが、芝生を再生・維持するためにどうしたらよいかを考え、踏みつけたりなどせずせっせと草むしりをしている毎日です。保育室前に広がる緑の場所。ゆったりした気分で臨み、草花や虫たちとの出会いの場にしたいものです。

(坂本)

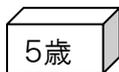
今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・園での生活のしかたや流れがわかり、できることは自分でやろうとする気持ちが
見られる。
- ・保育者に親しみ、自分の要求や気持を表す。(ぼくも！わたしも！)
- ・道具や遊びを媒介にしながら仲間の存在を知る。



- ・集団生活への抵抗がほぼなくなる。
- ・クラスの大部分の子どもを知っている。(名前やマーク、どんな遊びをしている)
- ・グループ単位の中で自由に会話ができる。



- ・集団の一員としての意識を持って行動できる。
(その中で自分が何をすることがわかっている)
- ・互いの力量、よさなどが認め合える。
- ・どんなメンバーの中でも自分の要求が言える。